

ご参加ください！

市民環境フォーラム

ごみ・リサイクル対策の今後
—これからの廃棄物対策について考える—

日時 3月22日(土) 13:00~15:30
会場 大学サテライト・プラザ彦根 (アル・プラザ彦根6階)
定員 100人 (先着順)

内容 **第1部** 特別講演 森 晶寿さん (京都大学大学院地球環境学堂准教授)
—廃棄物対策の課題と目指すべき方向—
審議会報告 中野 桂さん (滋賀大学経済学部准教授、彦根市廃棄物減量等推進審議会委員)
—彦根市における新たなごみ処理体系とごみ処理有料制について—
第2部 活動事例紹介 —アイデア広がる新たな市民リサイクル活動—



▲昨年の市民環境フォーラム

バイオディーゼル燃料 (BDF) で世界を走る
油藤商事株式会社専務取締役
青山裕史さん
早くからBDFの製造販売を手がけ、地球環境保全に先駆的な活動をされている同様に、BDFの普及と耐久性試験に挑む意気込みを語っていただきます。

エコドームの夢
NPO法人
ピープルズコミュニティ理事長
安田裕美子さん
地道な市民活動が行政を動かす、地域リサイクルの拠点、エコドームが誕生しました。住民主導で多彩な実践が繰り広げられる、新たなリサイクル活動の夢を語っていただきます。

アジアに揺れる古紙リサイクルの今後
東陽紙業株式会社代表取締役社長
山田圭輔さん
中国古紙事情の視察を踏まえ、日本において、古紙リサイクルを進める上で、留意しておかなければならないことについてお話いただきます。

資源回収活動でつなぐ地域コミュニケーションの輪
滋賀県立大学
古紙回収サークル代表
箱森昌太さん
資源回収を行うだけでなく、そこから得られた収益を地域に還元する活動のなかで、コミュニケーションの輪を広げようとする、新しいスタイルの活動を紹介します。

問い合わせ先 生活環境課 ☎30-6116、FAX27-0395

資源化は、正しい分別から

回収された資源ごみは、まず選別されます。なぜ、選別が必要なのでしょう。それは、再生するとき、原料に変わるものに異物が入っていると、品質が低下するからです。不純物が多く混じると、リサイクル業者が引き取りを断ることもあります。その場合は、ごみとして処理することになるため、せつかくの資源が、生かされません。

また、選別は、人の手で行います。食べ残しなど、中身が残ったままの

ものや、汚れているものは、選別作業の大敵です。また、指定ごみ袋のなかに、小分けした袋などがある場合も、作業の効率下がります。

「ごみを出したらそれで終わりではありません。リサイクルを進め、環境への負荷を少しでも少なくするために、ごみを出すときには、正しく分別して出してください。資源ごみなどを出すときのポイントを左に示します。みんなで守って、資源化を進めましょう。」

ごみの出し方ワンポイント

「資源ごみ」の正しい出し方

プラスチックごみ 食品などのトレーや容器は、中身を使い切り、水洗いして汚れを落としてください。
ペットボトル キャップとラベルをはずし、中を洗ってから出してください。キャップがついていると、機械での圧縮がうまくできず、体積が大きくなるため、輸送費が高くなります。



「陶器類・その他ごみ」の正しい出し方

ストッキング・ビデオテープ類 機械に巻き込んでしまい、機械の故障の原因となります。これらは、「陶器類・その他ごみ」に出してください。
硬いプラスチック製品 日用品・おもちゃなどの、硬いプラスチック製品は、「廃プラスチック」ではなく、「陶器類・その他ごみ」に出してください。

できのいいからせつかく

彦根市廃棄物減量等推進審議会委員 広嶋照子さん (京町一丁目)



審議会の委員に応募したのは、もともと環境全般に興味があったので、委員として環境に関わりながら、自分も勉強していこうと思ったからです。

「ごみの減量に気をつけるようになったきっかけは、私自身が、朝早く起きるのが苦手で、毎回、決まった時間までに「ごみを出すのに苦労した」ことです。そこで、ごみを出す回数を減らすために、できるだけ「ごみを出さないように工夫しました。出すごみの量が減ると、ごみ袋代も減るため、一石二鳥となっています。さらに、最近では、ごみになるものを、できるだけ家に持ち込まないように努めています。買った物やときの包装も、そのひとつです。物や服を買ったときも、捨てることを考えて、買うようにしています。」

毎日の暮らしのなかでは、生ごみを庭でバケツなどを使って堆肥にしています。牛乳パック・トレー・ペットボトルは、リサイクルに回すように心がけて、4月1日から収集曜日を変更している、粗大有料戸別収集について、

※粗大有料戸別収集は予約制です。収集希望日の7日前までに「清掃センター」管理課へ申し込んでください。

※詳しくは、「広報ひこね」3月1日号と同時に全戸配布する、「平成20年度ごみ収集カレンダー」をご覧ください。

審議会の委員に応募したのは、もともと環境全般に興味があったので、委員として環境に関わりながら、自分も勉強していこうと思ったからです。

「ごみの減量に気をつけるようになったきっかけは、私自身が、朝早く起きるのが苦手で、毎回、決まった時間までに「ごみを出すのに苦労した」ことです。そこで、ごみを出す回数を減らすために、できるだけ「ごみを出さないように工夫しました。出すごみの量が減ると、ごみ袋代も減るため、一石二鳥となっています。さらに、最近では、ごみになるものを、できるだけ家に持ち込まないように努めています。買った物やときの包装も、そのひとつです。物や服を買ったときも、捨てることを考えて、買うようにしています。」

毎日の暮らしのなかでは、生ごみを庭でバケツなどを使って堆肥にしています。牛乳パック・トレー・ペットボトルは、リサイクルに回すように心がけて、4月1日から収集曜日を変更している、粗大有料戸別収集について、

※粗大有料戸別収集は予約制です。収集希望日の7日前までに「清掃センター」管理課へ申し込んでください。

※詳しくは、「広報ひこね」3月1日号と同時に全戸配布する、「平成20年度ごみ収集カレンダー」をご覧ください。

清掃センターからのお知らせ

(1) 粗大有料戸別収集日変更について

小学校区によって収集曜日が決まっている、粗大有料戸別収集について、4月1日から収集曜日を変更します。

※粗大有料戸別収集は予約制です。収集希望日の7日前までに「清掃センター」管理課へ申し込んでください。

※詳しくは、「広報ひこね」3月1日号と同時に全戸配布する、「平成20年度ごみ収集カレンダー」をご覧ください。

(2) ごみの分別変更について

4月1日から、今まで「陶器類・その他ごみ」に分別されていたごみの一部について、分別方法が、下の表の通り変わります。

※詳しくは、「広報ひこね」3月1日号と同時に全戸配布する、「平成20年度ごみ収集カレンダー」をご覧ください。

※ごみの収集カレンダーは、清掃センター、生活環境課、支所・各出張所でも配布します。

品目	現在	4月1日~
くつ かばん スリッパ スポンジ ゴム 皮革製品	陶器類・ その他ごみ	燃やせるごみ
いもの 鋳物なべ ホーローなべ	陶器類・ その他ごみ	缶・金属類

(3) 自治会一斉清掃に運搬車両を配車します

平成20年度、自治会一斉清掃にかかる土・草の運搬について、車両を配車します。3月から申請を受け付けます。配車を希望する自治会は、所定の申請書と車両配車場所を明記した地図を添付の上、清掃センター管理課へ提出してください。

▼車両を配車する日 毎月第1・3日曜日
※5月の第1日曜日、8月の第3日曜日、平成21年1月、2月の第1・第3日曜日は実施しません。

▼申請書は、清掃センターの他に生活環境課、支所・各出張所にあります。また彦根市ホームページからもダウンロードできます。ただし、申し込みは、直接、清掃センターで申し込んでください。